

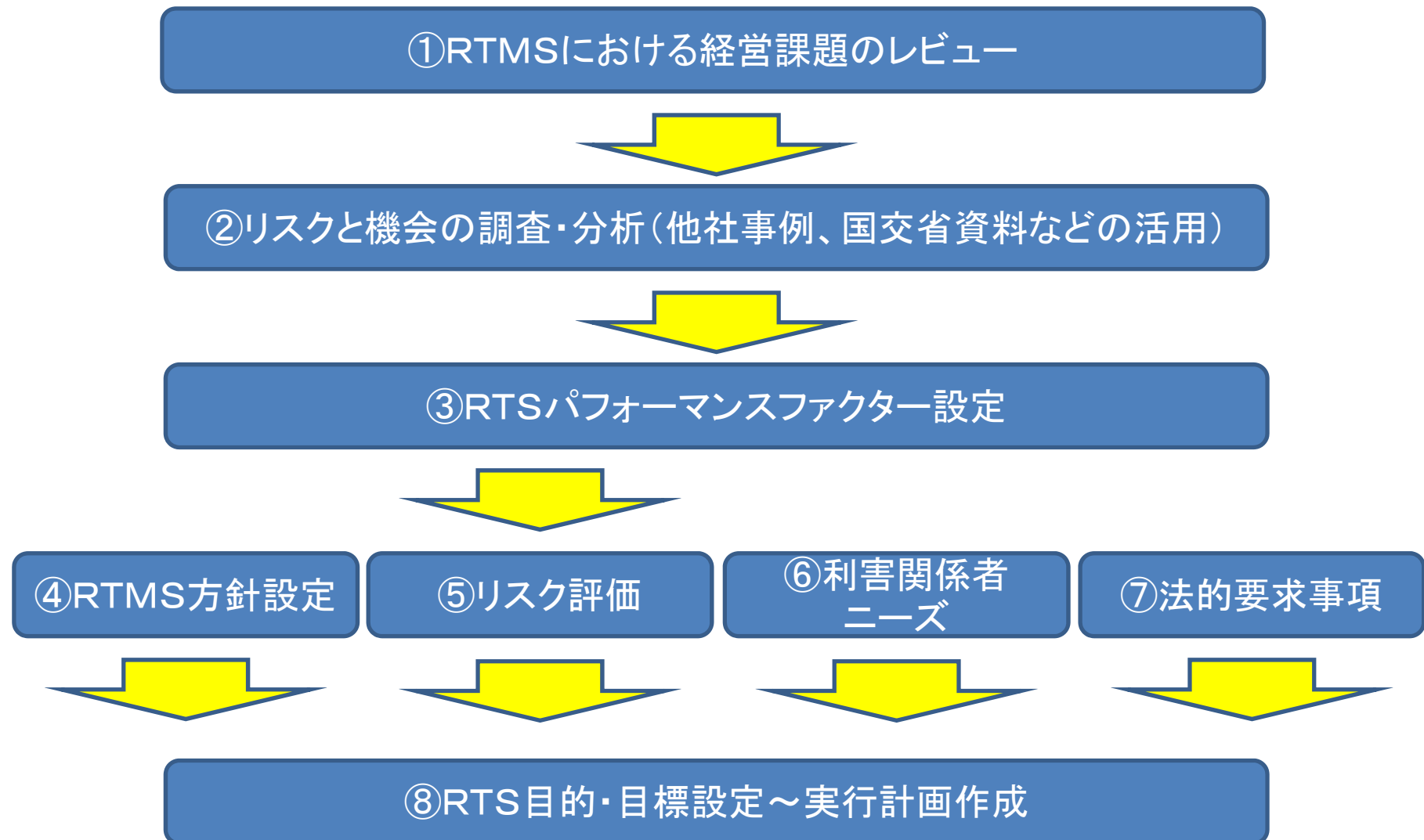
ISO39001構築・運用プロジェクト

1. RTMSの適用範囲・プロセスを設定する

- HLSで設定された特徴の一つとして、マネジメントシステム導入前に【適用範囲】を明確にすることが求められている。(要求事項である)
- 適用範囲を決定する際の配慮事項
 - ①組織及びその状況の理解(外部及び内部の課題)・・・要求事項4. 1の配慮
 - ②利害関係者(顧客、取引先、従業員、地域社会など)・・・要求事項4. 2の配慮
 - ③RTSパフォーマンス及びリスクと機会などの計画・・・要求事項6の配慮
- 適用範囲を検討する際の要素(プロセス、組織)で整理する

プロセス分類				管理部署	
				本部	各部署 (現業)
直接管理	社有車	車の走行・運転		運転ルール遵守	◎
				運転評価(燃費、デジタコ等)	○ ◎
		車の管理	定期点検	法定点検整備・車検の充実	◎ ○
			購入	新車、安全性能、衝突防止装置などの状況	◎ ○
		運行管理		法定運行管理業務の遵守	○ ◎
				エコドライブ、安全運転推進	○ ◎
				死亡や傷害を軽減する救急・治療・リハビリ向上	◎ ○
	社有車 以外の車	供給者先の道路交通安全管理		供給先のRTS要因の改善	◎
				供給先の変更によるRTS要因の軽減	◎
間接管理	運行管理 以外	通勤の交通安全		従業員の通勤中の事故削減	◎ ○
		社会貢献		近隣住民の交通被害削減	◎
				地域の交通安全運動参画・推進	◎

2. RTS リスク評価～実行計画策定のステップ



3. RTMSにおける経営課題のレビュー

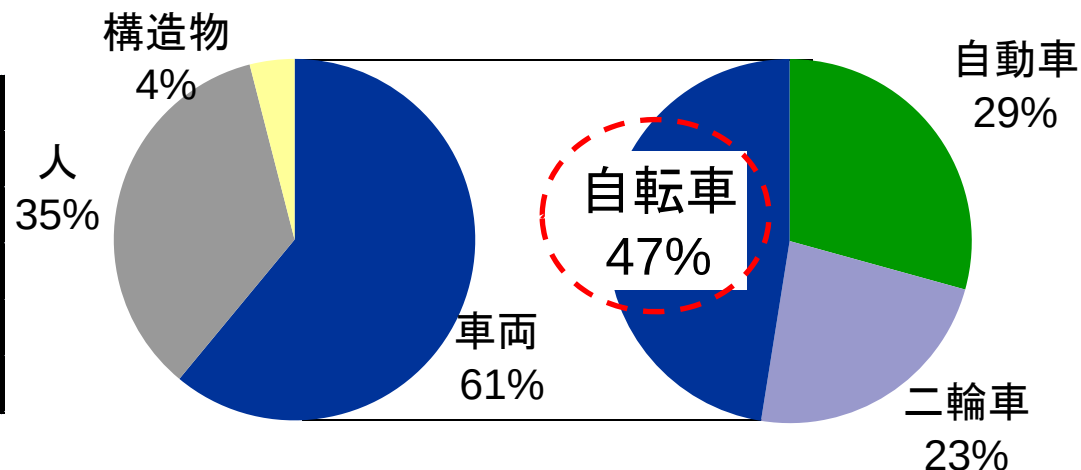
[illegible]

4. リスクと機会／国土交通省資料抜粋(1)

(1) 項目毎に集計／対象・危険状況

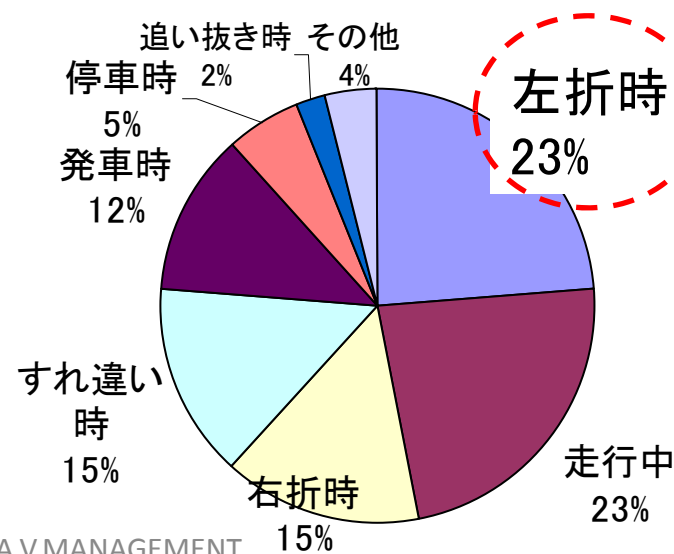
対象

対象	件数	内訳	件数
車両	61	自動車	18
		二輪車	14
		自転車	29
人	35		
構造物	4		



危険状況

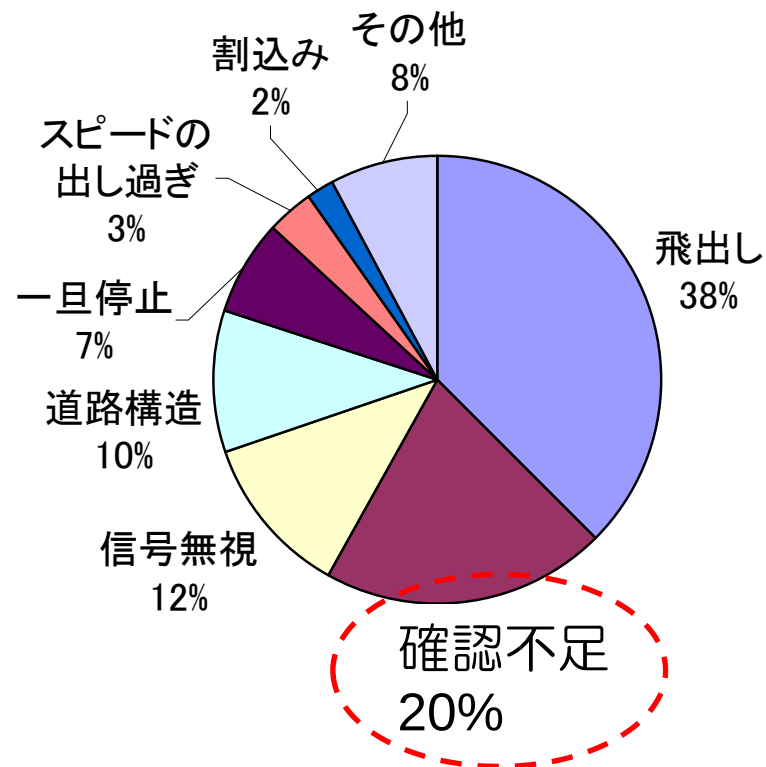
危険状況	件数
左折時	31
走行中	30
右折時	19
すれ違い時	19
発車時	16
停車時	7
追い抜き時	3
その他	5



(2) 項目毎に集計／危険原因

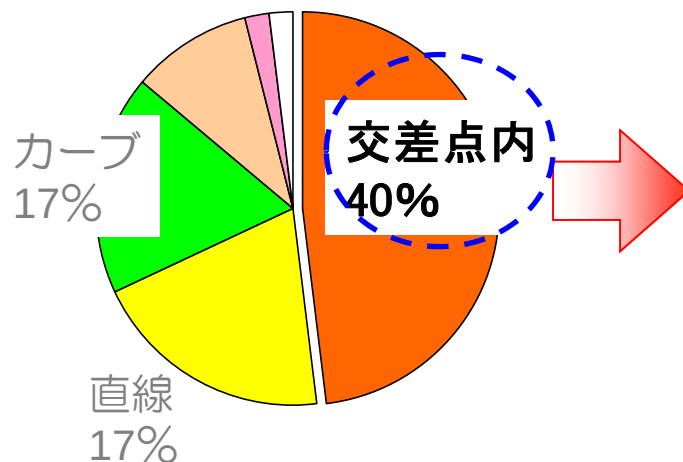
危険原因

危険原因	件数
飛出し	77
確認不足	42
信号無視	24
道路構造	21
一旦停止	14
スピードの出し過ぎ	7
割込み	4
その他	16
計	205

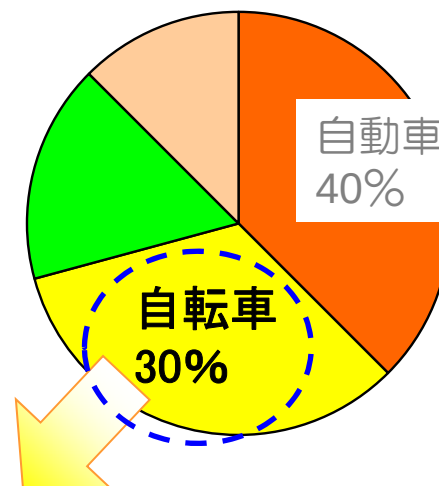


(3) 多発する項目に着目

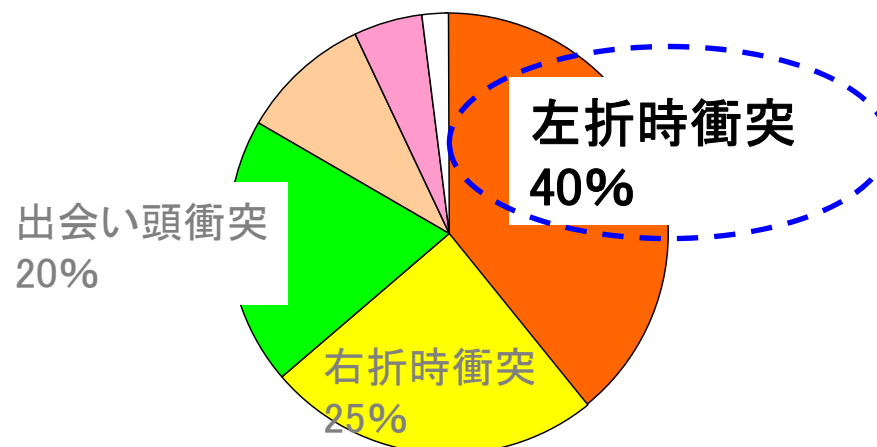
事故発生場所



交差点内の事故の相手



交差点内の自転車事故の事故類型



左折時に自転車との
衝突事故が多発

7. RTSリスク評価

リスク評価基準				
S: 結果の重大性	P: 発生可能性	条件・状況の有無にかかわらず発生する	一定の条件・状況下で発生する	ほとんど発生しない
死亡者・重傷者が発生する		9	6	3
傷害を被るが回復可能		6	4	2
傷害がない事故の発生		3	2	1

8. RTS目的・目標設定～実行計画表作成

目的・目標設定表								
No.	目的	目標			主管部門	支援部門		
		2013年度	2014年度	2015年度				

②実行計画表作成

②実行計画表作成

[illegible]

9. ISO39001認証取得PJタイムスケジュール

ISO39001－2012認証取得計画タイムスケジュール			経過月数							
作業項目			1	2	3	4	5	6	7	8
準備	1	ISO39001－2012規格解釈研修	■							
	2	ISO認証取得PJオリエンテーション	■							
体制作り	3	RTMS適用範囲・プロセスの設定	■							
	4	ISO認証取得PJ実行計画作成	■							
	5	ISO認証取得PJ推進組織設定～発足	■	■						
	6	ISO認証取得PJ基本教育	■	■						
RTMS 予備調査	7	RTMSにおける経営課題レビュー	■	■						
	8	RTMS経営課題リスク評価	■	■						
	9	法規制調査	■	■						
	10	経営資源の問題点調査	■	■						
RTMS 計画	11	RTS方針策定	■	■						
	12	RTSリスク対応計画策定	■	■	■					
	13	最終安全結果ファクターの決定	■	■	■					
	14	中間安全結果ファクターの適用決定	■	■	■					
	15	RTMS予備調査結果の整理	■	■	■					
	16	RTMS実行計画策定(目的、目標、達成基準、役割、期限)	■	■	■	■				
システム 構築	17	既存文書・記録のISO適合性診断/現状把握	■	■						
	18	文書体系/維持管理方式の設定	■	■						
	19	作成すべき必要文書の設定	■	■						
	20	文書・記録作成計画	■	■						
	21	RTSマニュアル草案作成～制定	■	■	■					
	22	RTSシステム文書(規定文書)草案作成～制定	■	■	■	■				
	23	RTS基準・指示文書(3次文書)草案作成～制定	■	■	■	■				
	24	新規作成すべき記録様式の作成	■	■	■	■				
	25	既存記録様式の改善・見直し	■	■	■	■				
	26	文書・記録の整合性チェック	■	■	■	■				
	27	文書間の整合性チェック	■	■	■	■				
	28	RTMS改善テーマの検討・設定	■	■	■	■				
	29	RTMS改善テーマの改善実施	■	■	■	■				
	30	新RTMSの従業員教育	■	■	■	■				
システム 運用・評価	31	RTMS資格認定対象者などの教育・訓練計画作成～実施	■	■	■	■				
	32	新RTMSの試行	■	■	■	■	■	■	■	■
	33	RTSパフォーマンス評価	■	■	■	■	■	■	■	■
	34	法的・その他の順守評価	■	■	■	■	■	■	■	■
	35	RTMSマネジメントレビュー	■	■	■	■	■	■	■	■
	36	RTMS模擬監査によるシステム運用面の実践的仕上げ	■	■	■	■	■	■	■	■
	37	内部監査員養成研修	■	■	■	■	■	■	■	■
	38	内部監査計画作成	■	■	■	■	■	■	■	■
	39	内部監査～是正処置によるRTMS改善	■	■	■	■	■	■	■	■
審査	40	予備審査	■	■	■	■	■	■	■	■
	41	第1段階審査	■	■	■	■	■	■	■	■
	42	第2段階審査	■	■	■	■	■	■	■	■

10. RTMS構築に必要な文書類

ISO39001:2012／規格要求事項		必要な文書類
4 組織の状況	4.1 組織及びその状況の理解 4.2 利害関係者のニーズ 4.3 RTSMネジメントシステムの適用範囲の決定 4.4 RTSMネジメントシステム	RTSMマニュアル RTS法規制管理規定
5 リーダーシップ	5.1 リーダーシップ及びコミットメント 5.2 方針 5.3 組織の役割、責任及び権限	RTS方針 RTS組織規定
6 計画立案	6.1 一般 6.2 リスク及び機会への取り組み 6.3 RTSパフォーマンスファクター 6.4 RTS目的及びそれを達成する為の計画策定	RTS計画管理規定／リスクマネジメント管理手順 RTSリスク評価表 RTS実行計画表
7 サポート	7.1 連携 7.2 資源 7.3 力量 7.4 認識 7.5 コミュニケーション 7.6 文書化された情報	RTS教育訓練規定 RTS設備管理規定又は資源管理規定 RTS資格認定手順書 RTSコミュニケーション管理手順書 RTS文書及び記録管理規定
8 運用	8.1 運用の計画及び管理 8.2 緊急時の準備態勢及び対応	RTS運用管理規定／ヒヤリハット管理手順書 RTS緊急事態対応管理手順書
9 パフォーマンス評価	9.1 監視、測定、分析、及び評価 9.2 道路交通事故及び他のインシデントの調査 9.3 内部監査 9.4 マネジメントレビュー	RTSインシデント・パフォーマンス管理規定 RTS内部監査規定 RTSマネジメントレビュー規定
10 改善	10.1 不適合及び是正処置 10.2 継続的改善	RTS不適合・是正処置管理規定

文書完成までのステップ

St1:文書作成スケジュール作成
* 作成予定文書別に担当者設定
* 文書別の作成スケジュール設定

St2:雛形事例を参照して草案作成
* テキストデータ(word)に加筆

St3:メール添削、訪問コンサルで指導

St4:担当者が手直し～再添削指導

St5:完成・制定

* ISO9001取得済みの企業は既存文書をベースに改訂します。

* 朱記の文書類は他のISO規格または運輸マネジメントシステム文書の活用又は統合化が可能

11. RTMS内部監査員研修

ISO39001 内部監査員養成研修タイムスケジュール(2日コース)				
	研修内容		時間	使用テキスト
1 日 目	1 研修オリエンテーション		9:30～10:00	
	2 ISO39001:2012要求項目解説	講義	10:00～12:00	ISO39001-2012要求項目／規格の解釈 ISO39001-2012要求項目(ハンディタイプ) 運輸安全マネジメントシステム(法規制)
	昼休憩		12:00～13:00	
	3 規格要求事項／理解度テスト	演習	13:00～13:15	ISO39001:2012要求事項／理解度テスト／問題
	4 内部監査の進め方 内部監査とPDCA 内部監査員の養成	講義	13:15～14:00	内部監査の進め方 システム監査の指針 内部監査実施のテクニック(1)(2)
	5 RTSパフォーマンスファクター	講義	14:00～15:00	RTSリスク／パフォーマンスファクター／パフォーマンス評価
	6 内部監査チェックリストの作成	演習	15:00～16:00	チェックリスト作成
2 日 目	7 不適合判定方法	講義	16:00～17:00	内部監査の進め方
	8 RTSパフォーマンスファクターケーススタディ	演習	9:30～11:00	RTSパフォーマンスファクター／ケーススタディ ワークシート
	9 不適合判定ケーススタディ	演習	11:00～12:00	不適合判定ケーススタディ ワークシート
	昼休憩		12:00～13:00	
	9 不適合判定ケーススタディ		13:00～14:00	
	10 不適合判定ケーススタディ発表会	演習	14:00～15:00	
	11 最終会議ロールプレイング	演習	15:00～16:00	不適合判定ケーススタディ 内部監査の進め方
	12 是正処置判定ケーススタディ	演習	16:00～16:45	是正処置判定ケーススタディ 内部品質監査の進め方 ワークシート
	13 研修まとめ／Q&A		16:45～17:00	
注:不適合判定及び是正処置判定ケーススタディ演習模範解答は2日目研修終了後配布				